

# コンテンツ スイッチング モジュールにおけるサービス拒否の脆弱性

High	アドバイザーID : cisco-sa-20070905-csm	<a href="#">CVE-2007-4789</a>
	初公開日 : 2007-09-05 16:00	<a href="#">4789</a>
	バージョン 1.1 : Final	<a href="#">CVE-2007-4788</a>
	CVSSスコア : <a href="#">7.8</a>	<a href="#">4788</a>
	回避策 : <a href="#">Yes</a>	
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Content Switching Module ( CSM; コンテンツ スイッチング モジュール ) および Cisco Content Switching Module with SSL ( CSM-S ) には、サービス拒否 ( DoS ) 状態につながる可能性がある 2 つの脆弱性が含まれています。 1 つ目の脆弱性は TCP パケットを処理する際に存在し、2 つ目の脆弱性はサービス ターミネーションが有効になっているデバイスに該当します。

Cisco では、該当するお客様用に、これらの脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20070905-csm> で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

これらの脆弱性は CSM ソフトウェア バージョン 4.2 および CSM-S ソフトウェア バージョン 2.1 で発見されたものです。これらの製品のうち、脆弱性を含むソフトウェア バージョンを次の表に示します。

脆弱性	CSM	CSM-S
TCP パケット処理による DOS	4.2.3a より古い 4.2	2.1.2a より古い 2.1
サービス ターミネーション	4.2.7 より古い 4.2	2.1.6 より古い 2.1

コンテンツ スイッチング モジュールで実行されているソフトウェアを確認するには、Catalyst スイッチにログインし、show version コマンドを発行します。

次の例では、CatOS が稼働するスーパーバイザで CSM ソフトウェア バージョン 4.2(2) が実行されています。CatOS または IOS が稼働するスーパーバイザでは、同様の出力が表示されます。次の出力が示すように、CSM のバージョンは WS-X6066-SLB-APC というラベルが付いたモジュールに対して表示されます。

```
Console>show version
```

```
WS-C6506 Software, Version NmpSW: 7.6(9)
Copyright (c) 1995-2004 by Cisco Systems
NMP S/W compiled on Aug 27 2004, 20:05:14
```

```
System Bootstrap Version: 7.1(1)
System Boot Image File is 'disk0:cat6000-sup2k8.7-6-9.bin'
System Configuration register is 0x2102
```

```
Hardware Version: 3.0 Model: WS-C6506 Serial #: TBA05360375
```

```
PS1 Module: WS-CAC-1300W Serial #: ACP05061071
PS2 Module: WS-CAC-1300W Serial #: ACP05060407
```

Mod	Port	Model	Serial #	Versions
1	2	WS-X6K-SUP2-2GE	SAD055104YY	Hw : 3.2 Fw : 7.1(1) Fw1: 6.1(3) Sw : 7.6(9) Sw1: 7.6(9)
		WS-F6K-PFC2	SAD055104H5	Hw : 3.0 Sw :
		WS-X6K-SUP2-2GE	SAD055104YY	Hw : 3.2 Sw :
2	48	WS-X6248-RJ-45	SAD0501084U	Hw : 1.4 Fw : 5.4(2) Sw : 7.6(9)
5	4	<b>WS-X6066-SLB-APC</b>	<b>SAD105003DW</b>	<b>Hw : 1.9</b> <b>Fw :</b> <b>Sw : 4.2(2)</b>

Module	DRAM			FLASH			NVRAM		
	Total	Used	Free	Total	Used	Free	Total	Used	Free
1	262144K	70354K	191790K	32768K	23251K	9517K	512K	253K	259K

```
Uptime is 43 days, 22 hours, 7 minutes
```

次の設定セグメントは、サービス ターミネーションが有効になっている vserver を示しています。

```
Console>show version
```

```
WS-C6506 Software, Version NmpSW: 7.6(9)
Copyright (c) 1995-2004 by Cisco Systems
NMP S/W compiled on Aug 27 2004, 20:05:14
```

```
System Bootstrap Version: 7.1(1)
System Boot Image File is 'disk0:cat6000-sup2k8.7-6-9.bin'
System Configuration register is 0x2102
```

Hardware Version: 3.0 Model: WS-C6506 Serial #: TBA05360375

PS1 Module: WS-CAC-1300W Serial #: ACP05061071  
PS2 Module: WS-CAC-1300W Serial #: ACP05060407

```
Mod Port Model Serial # Versions
-----
1 2 WS-X6K-SUP2-2GE SAD055104YY Hw : 3.2
Fw : 7.1(1)
Fw1: 6.1(3)
Sw : 7.6(9)
Sw1: 7.6(9)
WS-F6K-PFC2 SAD055104H5 Hw : 3.0
Sw :
WS-X6K-SUP2-2GE SAD055104YY Hw : 3.2
Sw :
2 48 WS-X6248-RJ-45 SAD0501084U Hw : 1.4
Fw : 5.4(2)
Sw : 7.6(9)
5 4 WS-X6066-SLB-APC SAD105003DW Hw : 1.9
Fw :
Sw : 4.2(2)
```

```
DRAM FLASH NVRAM
Module Total Used Free Total Used Free Total Used Free
-----
1 262144K 70354K 191790K 32768K 23251K 9517K 512K 253K 259K
```

Uptime is 43 days, 22 hours, 7 minutes

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

これらの脆弱性に該当するのは、上に示す 4.2 バージョンが稼働している Catalyst CSM モジュールだけです。CSM ソフトウェア バージョン 4.1、3.2、および 3.1 は、これらの脆弱性には該当しません。

上に示す 2.1 バージョンが稼働している Catalyst CSM-S モジュールは、これらの脆弱性に該当します。

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。Cisco Secure Content Accelerator は、これらの脆弱性には該当しません。

### 改訂履歴

リビジョン 1.1	2008-April-25	<a href="#">CSCsh57876</a> および <a href="#">CSCsd27478</a> のための CVSS スコアへの更新済リンク。
リビジョン 1.0	2007 年 9 月 5 日	初版リリース

### 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。